

ゲノム遺伝情報学

2 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年), 3 年 (通年)

Course on Genomic Information

板倉 光夫(授業責任者)・教授/プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座, 井上 寛・特任教授/疾患ゲノム研究センター

【授業目的】 ヒトゲノムの多様性がどのように疾患感受性や薬剤応答性を決めるか、また、これらに関わる遺伝子の多型をヒトだけでなくマウス等のモデル生物を用いてどのように探索するかについて理解させる。

【授業概要】 ヒトゲノムの多様性は、蛋白質の多様性を介して、個人の差、病気の罹り易さ、薬剤に対する応答性等の体質を規定している。ヒトゲノム多様性マーカーを用いることにより、疾患関連遺伝子を同定するための遺伝統計学的を用いる筋道と、標的遺伝子の調節機能を遺伝子改変動物を用いてどのように解析するかについて体系的に講義を行う。

【履修上の注意】 e-learning は取り扱っていない

【授業計画】

	大項目	内容	担当
1.	リサーチカンファレンス	毎週金曜日 17:00~ 18:00	板倉, 井上
2.	抄読会	毎週月曜日 17:00~ 18:00	”
3.	研究指導・技術指導	随時	”

【成績評価】 日頃の実験に取り組む姿勢, 出席率, レポート等により判断する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217560>

【連絡先】

⇒ e-mailにて時間調節の上,面談してください。

【備考】 特になし